

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育課程論	教職小		17625	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
都賀 純	選択	2	公立小学校教員（指導主事（神戸市教育委員会指導課）として伝達指導）			

授業の到達目標

教育課程の意義、法的根拠、外観を理解する。現行の教育課程編成の要点、配慮事項について、その意味するところ、ポイントをプレゼン、討議を通して深めていく。KAISEIパーソナリティーのI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

学校現場での具体的な教育課程、カリキュラム・マネジメントの進め方を伝えていく。法令や学習指導要領解説と学校現場の実践と成果（そこにある課題や悩み、子供たちの姿、地域の教育力）とをつないで学生の理解を図っていく。

授業計画

1. 改訂の経緯・基本方針・要点
2. 教育課程の基準（意義と法制）
3. 学習指導要領の改訂の変遷
4. 教育課程の原則
5. 生きる力を育む各学校の特色ある教育活動の展開
6. カリキュラム・マネジメント
7. 教育課程の編成
8. 教育課程の編成における共通的事項
9. 教育課程の授業改善
10. 教育課程の学習評価
11. 児童の発達を支える指導の充実
12. 特別な配慮を必要とする児童への指導
13. 学校運営上の留意事項
14. 道徳教育推進上の配慮事項
15. まとめを行ってから試験をする。

授業の方法

教育課程に対する学生の発表、論述を大切にし、そこから生まれる疑問について討議をする中で理解を深めていく。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

- ①課題 レポート提出3回、課題発表5回程度を求め、講義の中でフィードバックを行う。
- ②評価方法 平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は1回につき4点減点。

テキスト

「小学校学習指導要領解説 総則編」 東洋館出版（H29.6）

留意事項

出席と授業態度を重視する。意欲と積極性を持って授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・人間関係			17629	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	2				

授業の到達目標

乳幼児期における子どもの人間関係づくりの基礎を学ぶ。幼稚園教育要領と保育所保育指針に基づき、戦後から現代までの保育に係る「人間関係」の変化とその捉え方を理解する。さらに、今回の改訂で重視されている地域子育て支援センターの役割や保育者の使命について理解を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティーのI（知性）とA（自律）を目指す。

授業の概要

乳幼児期は心身ともに触れ合う社会的、情動のコミュニケーションが重要な時期である。生まれた直後から養育者に抱かれ、体の温もりを感じながら、コミュニケーションし、人間関係の最所の発達課題である愛着や信頼を獲得していく。発達するにつれて、生活空間を広げ、幼稚園等施設に入園し、保育者や仲間と出会い、関わりを通して、自立心や他者への愛情や信頼、生活習慣や態度を身に付けていく。このように人格の基礎を培う乳幼児期に関わる保育者及び教師の役割と責任は大きい。子どもたちが友だちと楽しく活動する中で共通の目的を見出して自然な形で協力することの良さを理解できるように役立つ技法、遊び、観察法等を学ぶ。

授業計画

1. 幼児教育の目的と領域・領域「人間関係」
2. 幼児教育の基本と保育者のさまざまな役割
3. 乳幼児期の発達と領域「人間関係」
①親や保育者との出会いと関わり
4. 乳幼児期の発達と領域「人間関係」
②友だちとの出会いと関わり
5. 子どもと保育者の関わり
①子どもとの信頼関係
6. 子どもと保育者の関わり
②子ども同士の関係をつなぐ
7. 遊びのなかの人の関わり
①遊びと子どもの育ち
8. 遊びのなかの人の関わり
②遊びのなかの友だちとの関わり
9. 生活を通して育つ人との関わり
①親や家族との関わり
10. 生活を通して育つ人との関わり

- ②園生活と人との関わり
11. 個と集団の育ち
①一人一人の理解と個と集団の関係
12. 個と集団の育ち
②クラス集団の育ちと個の育ち
13. 人との関わりを見る視点
自己の発達と人との関わり
14. 現代の保育の課題と領域「人間関係」
15. 子ども同士の人間関係の形成を効果的に援助し促進するための知識を習得する。
まとめを行ってから試験をする。

授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

- ①レポートの提出（全1回）を求め、講義の中でフィードバックを行う。
- ②グループ発表後は、担当教員によるフィードバックを行う。
平常点30%、課題レポート20%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき5点、遅刻1回につき2点の減点とし、5回を超える欠席で不合格とする。

テキスト

岩立京子（編者代表）、無藤隆（監修）「新訂 事例で学ぶ保育内容 領域 人間関係」萌文書林

参考図書

文部科学省「幼稚園教育要領解説」、厚生労働省「保育所保育指針解説」
内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等社会科指導法			17665	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
山本 博	選択	2	公立小学校教員			

授業の到達目標

1. 「小学校学習指導要領 社会」の目指す理念や目標を理解することができる。
2. 「小学校学習指導要領 社会」の変遷と今求められている社会科学力について、理解することができる。
3. 具体的な資料を用いた学習指導案を作成し、模擬授業を展開することができる。
4. 社会の出来事に関心をもつことができる。
5. このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自立）とI（知性）を養う。

授業の概要

「小学校学習指導要領 社会」の変遷を概観し、新しい「小学校学習指導要領 社会」に基づき、教育内容と指導法を考察し、教材研究の方法や学習指導法、評価方法の習得を目指す。グループワークとして、事例研究や模擬授業、教材研究の発表の場を設定する。さらに、学習者の視点に立った実践的な学びを展開することで、教師としての授業力や実践両区を高める。

授業の方法

講義とグループワーク、模擬授業を中心に進める。

準備学修

WEBで参照すること

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

規則に従う

テキスト

文部科学省 小学校学習指導要領解説社会編 日本文教出版

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

出席と授業態度を重視する。積極性と意欲をもって授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等算数科指導法			17669	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
都賀 純	選択	2	公立小学校教員（特に専門的に研究する）（神戸市算数研究会部長）			

授業の到達目標

算数科の教育内容と目標、及び指導法を習得する。子供が主体的・対話的で深い学びを進めるための授業づくりの工夫、留意点を教材研究、模擬授業を通して身に着ける。KAISEIパーソナリティのI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

算数科の目標、内容、系統性、各領域の特徴を学ぶ。子供のつまづきやすい教材を取り上げ、具体的な指導法を現場での実践成果と絡めながらプレゼン、討議する。学校現場での45分授業の構成、指導案の書き方を学び、模擬授業も行う。

授業計画

1. オリエンテーション ・ 算数科の目標(その趣旨及び要点)
2. 算数科の内容と構成(領域と概観)
3. 授業45分間の構成上の留意点
4. 学習指導案(1)内容と書き方
5. 学習指導案(2)指導案を書く
6. 第1学年の目標及び内容
7. 第2学年の目標及び内容
8. 第3学年の目標及び内容
9. 第4学年の目標及び内容
10. 第5学年の目標及び内容
11. 第6学年の目標及び内容
12. 低学年 模擬授業とふりかえり
13. 中学年 模擬授業とふりかえり
14. 高学年 模擬授業とふりかえり
15. まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義と指導法についてのディスカッション、さらに模擬授業、事後の討議などの活動を大切にしていく。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

- ①課題 レポートの提出、学習指導案の提出、模擬授業を求め、講義の中でフィードバックを行う。模擬授業の振り返りにおいて、担当教員によるフィードバックを行う。
- ②評価方法 平常点70%、定期試験30%

欠席について

欠席1回につき4点減点する。

テキスト

「小学校学習指導要領解説 算数編」 東洋館出版（H29.6）

留意事項

出席と授業態度を重視する。積極性と意欲を持って、授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
特別活動論	教職小		17681	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
都賀 純	選択	2	公立小学校教員（担当指示主事）			

授業の到達目標

特別活動の意義、役割、今日の課題について学ぶ。子供の自己実現、人間関係づくり、望ましい集団活動のあり方について専門的な知識や指導力を身に着ける。KAISEIパーソナリティのI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

教育課程における特別活動の理念を把握し、目標、内容の理解を図る。学級活動の模擬体験や模擬授業を行う。さらに学校現場での実践、差風会活動等での映像を通して子供の姿を伝えることで、理解を深めていく。

授業計画

1. オリエンテーション、改訂の趣旨と目標
2. 基本的な性格と意義
3. 学級活動の目標と内容
4. 学級活動の指導計画
「学級や学校における生活づくりへの参画」の模擬授業
5. 学級活動の指導計画
「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬授業
6. 学級活動の内容の取扱い
「一人一人のキャリア形成と自己実現」の模擬授業
7. 児童会活動の目標と内容
8. 児童会活動の指導計画と内容の取扱い
9. クラブ活動の目標と内容、指導計画と内容の取扱い
10. 学校行事の目標と内容
11. 学校行事の指導計画と内容の取扱い
12. 指導計画の作成に当たっての配慮事項 特別活動における主体的・対話的で深い学び
13. 指導計画の作成に当たっての配慮事項 全体計画・年間計画の作成とその留意点
14. 内容の取扱いについての配慮事項
15. まとめを行ってから試験をする。

授業の方法

講義と演習（模擬授業、ディスカッション、プレゼンテーション

等）を合わせて、創造的思考力を養う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

- ① 模擬授業1回、レポート提出（全3回程度）を求め、講義の中でフィードバックを行う。グループ発表後は、担当教員によるフィードバックを行う。
- ② 評価方法 平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき4点減点する。

テキスト

「小学校学習指導要領解説 特別活動編」 東洋館出版社（H29.6）

留意事項

出席と授業態度を重視する。意欲と主体性をもって、授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育・教職実践演習（幼・小）			17686	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石島 多恵/佐原 信江/大岸 啓子	選択	2	公立保育所保育士、公立幼稚園教員、公立小学校教員			

授業の到達目標

保育・教職課程科目の学修や学校園での現場学習等を通じて、保育士・教員として必要な資質能力が、実践力としてどのように統合されたかを最終的に確認する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

実習で学んだことを振り返り、課題を確認するとともに保育者・教育者としての役割と責務についての認識を深めていく。職務への使命感、社会性や対人関係能力、また、学級経営能力や指導力を高め、保育者・教育者としての資質の向上を目指す授業を進める。

授業計画

1. 授業概要の説明、受講の心構え、これまでの学修の振り返り
2. 保育・教職の意義や保育士・教員の役割、職務内容、子どもに対する責任等についての討議
3. 社会性や対人関係能力（職場、保護者・地域との人間関係の構築等）についての講義・グループ討議
4. 幼児・児童理解や学級経営についての講義・グループ討議
5. 保育計画案・学級経営案の作成
6. 保育計画案・学級経営案の発表とグループ討議
7. 学校園現場の見学・調査①
8. 学校園現場の見学・調査②
9. 社会性、対人関係能力、幼児・児童理解、学級経営についてのグループ討議
10. 保育・教科の指導力についての講義・グループ討議
11. 模擬保育・模擬授業と討議①
12. 模擬保育・模擬授業と討議②
13. 事例研究とロールプレイング①
14. 事例研究とロールプレイング②
15. 目指す教師像と自己課題の確認

授業の方法

発表とディスカッションを多く取り入れる。

準備学修

事前に課題を提示するので、レポートや作品等を作成すること。具体的な課題については、保育・教職（幼・小）の各担当教員から提示する。

課題・評価方法

- ① レポートや作品等の提出物については、担当教員による批評とアドバイスを行う。
- ② 評価方法は平常点70%、定期試験30%とする。

欠席について

欠席は5点減点し、遅刻は2点減点する。

参考図書

厚生労働省『保育所保育指針解説書』、文部科学省『幼稚園教育要領解説』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説』、フレール館、文部科学省『小学校学習指導要領』、わかば社『教職実践演習 これまでの学びと教師への歩み』

留意事項

自己目標・課題をもって意欲的に授業に臨むこと。